

第30回福井市ジュニア大使帰国報告書

30th Fukui Junior Ambassadors Report



派遣日程

2024/3/18(Mon)-
2024/3/24(Sun)

派遣都市韓国 水原市

派遣テーマ

Spread Japanese cultures and circle of smiles

～国境をこえて世界平和へ第一歩！～

もくじ

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. ジュニア大使選考から派遣まで | ・・・ P 2 ~ 3 |
| 2. 福井市ジュニア大使名簿 | ・・・ P 4 |
| 3. 日程 | ・・・ P 5 ~ 9 |
| 4. ジュニア大使報告書 | ・・・ P 10 ~ 20 |

1. ジュニア大使選考から派遣まで

○ 第1次選考会

と き 令和5年12月2日(土) 10:00~11:30
ところ フェニックス・プラザ 403号室
応募者 29名
参加校 11校
内 容 作文



テーマ「外国人にとって、福井が魅力的なまちになるためにはどうしたらいい
と思いますか？」

○ 第1次選考委員会

と き 令和5年12月13日(水) 14:00~
ところ ふくい市民国際交流協会会議室
選考委員 福井市国際室 室長
ふくい市民国際交流協会 副会長
ふくい市民国際交流協会 副会長
ふくい市民国際交流協会 姉妹友好都市交流委員長
内 容 応募者29名から20名を選抜した。

高屋 雅樹
永岡 弥栄子
鈴木 一美
山崎 栄一

○ 第2次選考会および選考委員会

と き 令和6年1月13日(土) 10:00~13:00
ところ フェニックス・プラザ 301号室、ふくい市民国際交流協会会議室
参加者 20名
参加校 11校
内 容 面接(5人1組)
応募者20名から10名を選抜した。



○ 任命式

と き 令和6年1月27日(土) 9:00~9:30
ところ フェニックス・プラザ 多目的ルーム

○ 研修会

第1回 1月27日(土) 10:00~12:00 フェニックス・プラザ 多目的ルーム

第1回研修会では、派遣テーマ、福井市および福井市の中学校紹介の内容と担当分け、中学校訪問での交流アクティビティの内容などを決めた。

派遣テーマは「Spread Japanese cultures and circle of smiles ~国境をこえて世界平和へ第一歩!~」に決まった。また、交流アクティビティは、「ジャンボリーミッキー」「アイドル」「Make you happy」のダンスを披露することが決まった。



第2回 2月4日(日) 9:00~12:00 福井県国際交流会館 第3会議室

第2回研修会では、各自が下調べしてきた水原市についての情報を発表した。また、福井市や福井市の中学生活についての紹介パワーポイントを作成し、交流アクティビティのダンスの練習をした。



第3回 2月17日(土) 9:00~12:00 ふくい市民国際交流協会 会議室

第3回研修会では、福井市や福井市の学校について、英語でプレゼンテーションをするための準備と交流アクティビティのダンスの練習をした。



第4回 3月2日(土) 10:00~12:00 フェニックス・プラザ 多目的ルーム

第4回研修会では、福井市や福井市の学校紹介のリハーサルとパフォーマンスの最終確認を行なった。また、ホームステイ先で使える韓国語会話を学んだ。

○ 壮行式

と き：3月2日(土) 9:00~9:30

と ころ：フェニックス・プラザ 多目的ルーム

ジュニア大使代表が、水原市では福井市の良さを伝えたい、水原市の人たちと積極的に交流を楽しみたいと抱負を述べた。



○ 派遣 3月18日(月)~24日(日) 6泊7日

○ 帰国報告会

と き：4月22日(月) 16:30~17:30

と ころ：福井市役所 3階 庁議室



2. 福井市ジュニア大使名簿

学校名	学年	氏名
明道中学校	2	旭 奈々子
足羽中学校	2	岩佐 桃愛
藤島中学校	2	岩堀 心珀
高志中学校	2	河合 万葉
成和中学校	2	澤田 彩乃
足羽中学校	2	福野 光莉
北陸中学校	2	藤田 七翠
明倫中学校	2	前田 栞那
大東中学校	2	室杉 怜沙
明道中学校	2	森川 暁



3. 日程

日付	時間	日程
3月18日 (月)	7:30	福井駅東口集合
	11:30頃	中部国際空港着
	13:40-15:50	中部国際空港～仁川空港 KE742
	15:50-17:00	入国手続き
	17:00-18:30	仁川空港～水原市イビスアンバサダーホテルへ
	18:30-19:00	ホテルチェックイン
	19:00-20:00	夕食
	20:00	ホテル



福井出発前の挨拶



仁川空港到着



夕食

日付	時間	日程
3月19日 (火)	8:00-9:00	朝食
	9:00-9:30	青少年文化センターへ移動
	9:30-10:30	歓迎式及び施設見学
	10:30-12:30	文化体験活動(韓紙工芸)
	12:30-13:30	歓迎昼食会
	13:30-14:00	日月樹木園へ移動
	14:00-15:00	日月樹木園訪問
	15:00-15:30	青少年文化センターへ移動
	15:30-17:30	文化体験活動(サムルノリ)
	17:30	ホストファミリーと対面



青少年センター歓迎式



センター施設見学



韓紙工芸体験



日月樹木園見学



サムルノリ体験



ホストファミリーと対面

日付	時間	日程
3月20日 (水)	9:00-10:00	水原青少年文化センター集合ーエバーランドへ移動
	10:00-17:00	エバーランド訪問、ホストファミリーの子どもたちも参加
	17:00	ホームステイ先へ



日付	時間	日程
3月21日 (木)	9:00-9:30	青少年文化センター集合ー水原市役所へ
	9:30-10:00	水原市役所表敬訪問
	10:00-10:30	トンソン中学校へ移動
	10:30-12:30	学校訪問 交流活動
	12:30-13:30	昼食
	13:30-14:00	スターフィールドへ移動
	14:00-16:00	スターフィールド smob(スポーツアトラクション)
	16:00-16:30	青少年文化センターへ移動
	16:30-17:30	国際親善サークルとの交流活動
	17:30	ホームステイ先へ



水原市役所表敬訪問



トンソン中学校訪問



スターフィールド



国際親善サークルとの交流活動

日付	時間	日程
3月22日 (金)	9:30-10:00	青少年文化センター集合ー錬武台へ移動
	10:00-11:10	国弓体験、華城列車乗車、華城行宮
	11:10-11:20	華城行宮から移動
	11:20-14:30	昼食およびアイドルメイクアップ体験
	14:30-15:00	ダンススタジオへ移動
	15:00-16:30	kpop レッスン及び映像撮影
	16:30-17:00	移動
	17:30-20:00	お別れ会
	20:00	ホームステイ先へ



国弓体験



華城行宮



メイクアップ体験



kpop レッスン



お別れ会



日付	時間	日程
3月23日 (土)	9:00	センター集合及びホストファミリーとのお別れ、出発
	10:30-12:30	ソウル市内観光
	14:00-17:00	仁寺洞散策、清溪川広場散策、ハイカーグラウンド
	17:30-18:30	夕食
	19:00頃	ホテル



水原市出発



歴史博物館



景福宮



清溪川広場散策



ハイカーグラウンド



日付	時間	日程
3月24日 (日)	7:40	ホテル出発
	10:35-12:30	仁川空港ー中部国際空港 KE741
	13:00頃	中部国際空港発
		福井へ移動
	17:00頃	福井駅到着



ホストファミリーが空港まで見送りに！



福井駅で帰国報告

4. ジュニア大使報告書

福井市ジュニア大使を経験して

明道中学校 旭 奈々子

私は、ジュニア大使として韓国の水原市に行き多くのことを経験することができました。水原市で過ごした7日間の中で心に残ったことは次の3つです。

1つ目はサムルノリの文化体験です。見た目は日本の和太鼓と似ていましたが、実際に演奏してみるとリズムが異なり演奏するのがとても難しかったです。先生方が優しく教えてくださり韓国の文化を楽しむことができました。

2つ目はホームステイです。会うまではどんな人たちか、うまくコミュニケーションをとれるかなど不安なことがたくさんありました。しかし、ホストファミリーはすごく親切にしてくださり、そんなに心配する必要がありませんでした。ホストファミリーは水原カルビやキンパなどの韓国の料理をごちそうしてくれたり、地元のスーパーやサウナに連れて行ってくれたり、ホームステイ中にもたくさんの韓国の文化を経験することができました。ホストファミリーのおかげで水原市滞在中を楽しく過ごせました。

3つ目はトンソン中学校の訪問です。中学校の給食や授業の挨拶、学校の施設など福井の中学校と違うところがたくさんあり、改めて日本と韓国との違いに気付くことができました。トンソン中学校の生徒達がたくさん話しかけてくれて水原市の人たちはフレンドリーだと感じました。

ジュニア大使として、韓国での7日間を通して水原市や国際交流のことを知り、今の私にしか見えない視点で水原市の学生と交流したり、韓国の文化を体験したりすることができました。また、福井の魅力を多くの人に発信することができました。そして、人との繋がりには言語の壁はなく、自分の仲良くなりたいという気持ちがあればたくさんの繋がりを持つことがわかりました。自分の力だけではできない貴重な体験したり、韓国の伝統的な文化から近代的な文化までいろいろなことを経験したりすることができてよかったです。今回の経験を糧にこれからも多くの人と交友関係を築きたいです。



ジュニア大使の経験を通して

足羽中学校 岩佐 桃愛

私は今回、ジュニア大使として韓国水原市と交流をし、本当に多くのことを学びました。また、日本と韓国の文化の違いを肌で感じ、現地の人とたくさん交流することができました。今回の派遣で経験した活動は、全て印象深かったですが、その中でも特に印象に残ったことを二つ挙げます。

一つ目は、ホストファミリーと過ごした時間です。最初会ったときはとても緊張していましたが、ホストファミリーが本当に優しく接してくださり、すぐに仲良くなることができました。ホストファミリーは毎日、私たちが水原市の様々なところに連れて行ってくださり、多くの韓国文化を体験することができました。特に、水原カルビを食べるために有名なお店に連れて行ってくださったときは、初めて本場の韓国料理を食べることができて、本当に嬉しかったです。また、逆に私たちも、ホストファミリーに、日本料理の親子丼を振る舞いました。自分たちで調理をしなればいけなかったことが大変でしたが、ホストファミリーもたくさん協力してくださり、美味しく作ることができました。ホストファミリーもすごく喜んでくださり、とても良い思い出となりました。

二つ目は、トンソン中学校の皆さんや、国際親善サークルの皆さんと交流できたことです。交流した皆さんは、私たちをととても歓迎してくれました。トンソン中学校は校舎がとてもきれいで、フェンシングの練習ができる場所など、様々な施設がありました。また、韓国の学校給食を初めて食べて、給食でさえも辛いものがあることに驚きました。国際親善サークルの皆さんとは、一緒に写真や動画を撮ったり、英語で色々な話をしたりして、たくさんの人と友達になることができました。

今回の経験を通して、言葉が通じなくても積極的にコミュニケーションをとろうとすることで、相手に気持ちを伝えることができることが分かりました。また、同じジュニア大使の素晴らしい仲間と一緒に韓国に行くことができて、本当に楽しかったです。これからも、このような国際交流の機会があれば、積極的に参加していきたいです。一生の思い出となる、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



貴重な7日間の経験を通して

藤島中学校 岩堀 心珀

私は、今回ジュニア大使になって、1週間韓国に滞在し、たくさんの経験をする事ができました。

今回特に心に残ったことを3つ紹介します。まず1つ目は、ホームステイです。ホストファミリーとは、主に英語や翻訳アプリを使って話しました。毎日ホストファミリーと過ごしていくことで、少しずつ韓国語が話せるようになりました。私が4日間過ごしたホストファミリーの食卓では、毎回キムチなどの辛いものと韓国のりができました。ホストマザーが作ってくれた料理の中で特に美味しかったのはプルコギです。ホストファミリーとの初めての夕食は、水原市で一番有名な水原カルビでした。初めてのホストファミリーとの夕食で、本当に緊張したけれど、ホストファミリーの皆は翻訳アプリを使って、日本語で話してくれたので、とても安心しました。この4日間で、水原のいろいろな場所に連れて行ってもらいました。短い時間だったけれど、ホストファミリーと4日間を過ごして、数えきれないほどのたくさんの思い出ができました。

2つ目は、華城行宮です。水原市にある華城行宮は、とても迫力がありました。私は、あんなに大きな城を見たことがなかったので本当に感動しました。華城行宮にいと、昔の時代にいるような気持ちになれました。

3つ目は、韓国の中学校です。私たちは、水原市のトンソン中学校を訪問しました。私はトンソン中学校を訪問してみて、良いなと思ったところは、授業の初めのチャイムがサランヘヨと言っていたことです。サランヘヨの意味は「愛してる」という意味です。チャイムがなった後に生徒たちも「サランヘヨ」と返していました。それが日本にはないので、日本にも取り入れて欲しいと思いました。他には、部活の種類が多く、日本にはない部活動がたくさんありました。日本の学校ではあまりないような相撲部のための部屋や、ジムのような部屋があって良いと思いました。体育館でトンソン中学校の生徒たちが見せてくれた歌やダンスでは、とても感動しました。日本のステージとはちがって、韓国の体育館のステージでは、上にスポットライトのような物がつきました。生徒がステージで発表している時に、青や赤や紫に光っていて、見ていてとても面白かったです。トンソン中学校の生徒は、とても親切で優しい人ばかりでした。最後に、日本の学校では、靴下の長さやスカートの長さ、髪型などに決まりがある学校が多いですが、韓国の中学校は、日本よりも自由で、一人一人の個性を尊重していると思いました。最近の日本は、不登校で学校に来ない子や、学校が嫌いな人が多いです。だから、韓国の学校の良いところを日本にも取り入れて、自由で一人一人の個性を發揮できるような場所にすると、学校に来る人も増えると思いました。

今回の7日間は、私にとって一生の宝物です。今回学んだ事を、たくさんの人に紹介して韓国についてのいろいろな事を知って欲しいです。私は今回の経験を通して、将来は外国に関わる仕事に就きたいと思いました。これからもこのような活動に参加していろいろな国の人達との友好関係を深めていきたいです。



水原の人と暮らしに触れて

高志中学校 河合 万葉

今回の水原市訪問で宮城遺跡である水原華城の見学や韓国の伝統工芸、伝統芸能の体験など普段できない初めての体験をたくさんさせていただきました。そういった活動の中でも特に心に残っているのがホームステイです。ホームステイは1番楽しみにしていたけれど親しくなれるか不安も大きかった活動でした。しかし、ホストファミリーは私達を「家族の一員だよ」と温かく迎え入れて下さいました。

一日目は近所のショッピングセンターに連れて行ってもらいました。スーパーにはカップ麺や乳製品が種類豊富で棚いっぱいには並べられていました。このようなお店で買い物しているんだと普段の生活が感じられました。

二日目からは緊張も解けて互いの国の言葉や数の数え方を教え合いました。指スマやカレーライスなど日本の遊びも紹介しました。できるだけ翻訳機器を使わず自分の言葉で伝えるように心がけました。韓国語が得意でなくても楽しくコミュニケーションが取れたことで外国の方と仲良くなれるという自信ができました。

日本との違いに気がついたこともありました。食事の際、茶碗を持たないこと、大皿でシェアして食べる事、箸が金属なことは新鮮に感じました。また、夜遅くまで営業するお店が多く大勢の人で賑わっていました。夜食をしっかり食べる習慣も印象に残りました。遅くまで起きていて大丈夫なのかと尋ねたら、学校の始業時間が日本より遅いのだとわかりました。

四泊五日という短い時間でしたが、一緒に屋台へ行ったりチマチョゴリを着たり、チムジルバンというサウナに行ったりして水原の暮らしをたくさん知ることができました。ホストファミリーと楽しく充実した時間を過ごせてとても嬉しかったです。

ホストファミリーの優しさにふれ、水原市と韓国を身近に感じられるようになりました。ホストファミリーが来日の計画を立てているそうなのでその時はたくさん福井と日本の良さを伝えて楽しい時間をお返ししたいと思います。



ホームステイで学んだ福井市と水原市の違い

成和中学校 澤田 彩乃

私は福井市ジュニア大使として、韓国の水原市に約1週間ホームステイをしに行きました。水原市での活動を通してたくさんのことを学ぶことができました。

まずは食事についてです。韓国料理は辛い食べ物が多く、ホストファミリーの家でも、飲食店でも、学校の給食でも辛い食べ物が必ずありました。ホームステイ先では、ホストファミリーのお婆さんがキンパを作ってくれました。キンパとはたくあんなどが入った韓国の海苔巻きで、とても美味しかったです。また、床に座って食事をするときなどは、あぐらをかいていました。韓国ではあぐらが行儀の悪い座り方という認識がなく、私のホストファミリーなども男女問わずあぐらをかいて座っていることが多かったです。食器を持たないというのがマナーで、汁物の料理でも卓上に置いたままスプーンと箸で食べます。

次に韓国の学校で学んだことについてです。韓国の学校の給食は教室ではなく食堂で食べます。トレーに食器をのせるのではなく、金属でできたランチプレートを使用し、列に並びながら順番におかずを貰う形でした。部活動はなく、放課後は塾へ行くことが多いです。私が訪問した韓国の学校には、ドラムなどがあり、実際にバンドを披露してくださいました。学校の体育祭などでもバンドを披露するそうです。

最後に門限についてです。韓国の水原市は比較的治安が良く、夜遅い日が落ちた時間帯でも、子供だけで外出することができました。実際、ホームステイ中にホストファミリーの女の子と夜コンビニに行くことがありました。ホストファミリーに聞いてみたところ、門限は22:00~23:00だと言っていました。日が落ちて暗い時間帯でも、小学生くらいの子供が歩いているところを見るときもあります。

このように日本や福井と韓国、水原市では異なる部分がたくさんあることがわかりました。ホームステイをしなければ知らなかったたくさんの部分を知ることができました。このジュニア大使としての活動を通して、水原市で学んだことや魅力を周りの人により伝えたいです。



水原訪問を通して学んだこと

足羽中学校 福野光莉

私はジュニア大使として、水原市での訪問を経験し、多くの感動的な瞬間に出会いました。この経験から得た学びは数えきれないほどありますが、特に印象深い二つをご紹介します。

まず一つ目は、韓国の歴史と伝統文化について学んだことです。私は、世界遺産である水原華城やソウルの景福宮を訪れました。韓国の城壁の様子が場所によって異なっていることや、石焼きビビンバという韓国の有名な食べ物で使われている、加熱法の応用など、韓国の先人の知恵に触れることができました。さらに、ソウルの河川敷には江戸時代の大名行列のように、当時の王と兵士達が歩く姿が描かれていました。実際に王がこの道を歩いていたことを知り、まるでタイムスリップしたかのような気分になりました。

また、韓国の伝統音楽も体験しました。以前、日本の和太鼓を習っていた私ですが、韓国の伝統音楽であるサムルノリの楽器は、同じ打楽器でも叩く向きやバチの使い方が異なるなど、伝統文化の違いを感じることができました。

二つ目に、ジェスチャーや顔の表情が言語と同じくらい有効な、意思伝達手段であるということ学びました。初めてホストファミリーと対面した時、言葉が通じず戸惑いましたが、「韓国語を教えて欲しい」とジェスチャーを交えて伝えると、優しく分かるように教えてくれました。私も身振り手振りで試行錯誤しました。意味が通じた時、私は満面の笑みやガッツポーズで喜びを表現しました。それを見たホストファミリーも笑顔で返してくれました。このコミュニケーションを通じて、心が一つになったと感じました。

私は、韓国で得た貴重な経験や学びを多くの人々に伝えるだけでなく、福井市の魅力を積極的に発信し、国際交流を一層活発にしていきたいと考えています。この経験は私にとって忘れられないものとなりました。ありがとうございました。



ジュニア大使として

北陸中学校 藤田七翠

私はこのジュニア大使を通して一つ大きな目標を掲げて韓国へ向かいました。目標を達成する中で学んだことや感じたことが多くあります。

私がジュニア大使として韓国へ行くときに目標としていたことは「韓国でたくさんの友達を作ること」です。これはこのジュニア大使に申し込もうと思った時から貫いてきた目標です。

この韓国で過ごした一週間の中で1番感じたことは韓国の皆さんはとてもフレンドリーで私たちをすごく歓迎してくれたことです。青少年青年財団の皆さん、ホストファミリーの皆さん、東城中学校の皆さん、私たちが行く先々で気遣ってくれました。

ホストファミリーの家族は毎回私たちに不便なことはないかと聞いてくれました。また毎晩近くの大型ショッピングモールに連れて行ってきて私たちのわがままも聞いてくれました。おかげで、とても楽しく充実した4泊5日間を過ごすことができました。

また私が今回の目標を達成する一歩となったのが東城中学校への訪問です。はじめ制服を着て学校に向かっていく時すごく緊張をしていました。バスを降りてすぐ生徒会の皆さんが歓迎してくれました。私たちはこの東城中学校で準備したプレゼンやダンスの出し物をしました。見ていた生徒の皆さんは真面目に見てくれたり、ダンス中はすごく盛り上げたりしてくれました。そのため準備した甲斐があったなと思えました。一緒に食べた給食でも私たちにやり方などを教えてくれたり一緒に食べてくれたりと感謝することがたくさんありました。東城中学校を離れないといけないと言うときにはとても別れるのが惜しかったです。ただここで目標にしていたことが達成することができました。

私はこの一週間で自分の語学能力が伸びたと思います。韓国に行くことと決まって少しずつ韓国語の準備をしていました。準備をしている中で不安を感じる時がすごく多くありました。ですが韓国に行って実際生活をしてみて、「韓国語上手だね」と褒められることが多くここでコミュニケーションの大切さを実感し、やってみないとわからないということも学びました。

最後にジュニア大使として韓国に派遣してみて思ったことは、他の国と関わることの大切さや楽しさ、そして自分がその一員になっていることの嬉しさです。福井市の代表として福井市を訪れて大人だけではできない、私たちのような若い人たちもいてこの国際交流が成り立っているのだなと思いました。この貴重な経験を通じて、これからも自分から興味を持ったことにチャレンジしたり、この国際交流の架け橋になりたいなと思います。



笑顔で広がった交流の輪

明倫中学校 前田 栞那

私はジュニア大使として韓国を訪問し、韓国の文化に直接触れてたくさんの経験をする事が出来ました。

1番印象に残っているのはホストファミリーと過ごした時間です。ホストファミリーと会う直前の時間どんな家族だろう、という楽しみな気持ち反面、言葉が伝わらなかったらどうしようかと不安になりました。しかし、ホストマザーがとても笑顔で出迎えてくれたおかげで私たちも自然と笑顔になり不安もなくなりました。私がホームステイした家には中学3年生と小学4年生の姉妹がいました。ホストマザーは日本に住んでいたこともあって日本語が話せる方だったので日本の文化や福井のお土産の紹介をして、韓国の食文化や生活を教えてもらいました。韓国で食べたキムチは涙が出そうになるほど辛くて衝撃的でした。ジュエチャーやリアクション、翻訳アプリを使ってすぐに仲良くなる事ができてよかったです。ホストファミリーと韓国のサウナのチムジルバンやオリーブヤングなどたくさんの場所に連れて行ってもらいました。家では韓国のボードゲームをしたのが盛り上がりました。とても楽しくて幸せな時間でした。

東城中学校ではまるでスターが来たくらい歓迎してくれて心が温くなりました。女の子はほとんどみんなメイクをしていたり、IT体育室があったり日本にはない文化が新鮮でした。私たちが福井市と日本の学校、ダンスの発表のときには写真を映す事にリアクションをしてくれて楽しんで交流する事ができました。また、今も連絡し合う友達ができました。この関係を大切にしていきたいと思います。

私はジュニア大使を通して現地に行ったからこそ韓国の文化、人と交流する楽しさ、言語が違ってても絆を深める事ができることなど数え切れないほど沢山の事を学びました。この貴重な経験を色々な人に広めて国際交流に貢献していきたいです。そして、これからもこのような活動に参加して世界の友達をつくりたいです。



ジュニア大使での経験

大東中学校 室杉 怜沙

私たちジュニア大使は3月18日～24日の一週間韓国の水原市にホームステイや現地の中学生との交流、国際交流を学びに行きました。

私は韓国で面白いと思ったことを3つ紹介します。

1つ目は、食事マナーです。食事マナーは日本と全然違ったのでとても不思議でした。韓国では、食器を持ち上げてはいけないというルールがあり、日本では食器を持ち上げるという違いが韓国での生活で一番慣れませんでした。また、韓国の食器や、箸、スプーンは金属でできていてこれも日本と違うなと思いました。そして箸やスプーンは机に直置きで置いておくことや、一つのおかずをみんなでシェアして食べる時、取り箸は使わずに自分の箸を使って食べていたことに少し驚きました。

2つ目は、放課後の時間の過ごし方です。私の放課後のイメージは友達と遊んだり、買い物に行ったりと学校の後は自由という感じがあります。日本でも学校の後塾や習い事に行く人も多いですが、韓国ではほとんどの人が大学を目指して勉強しているので、学校が終わったら遊ぶのではなく宿題をしたり、塾に行ったしていたことを私は日本と韓国では勉強の考え方が違うのかなと思いました。私がホームステイした家の子供はこの生活について「大学に行くために仕方なくこの生活をしなければならない。でもこの生活に慣れているから大丈夫」とっていました。

3つ目は、校則の違いです。これは韓国でできた友達が言っていたことですが、学校にもよりますが、韓国の学校は日本の学校より校則が緩いということが面白いと思いました。日本はスカートはこの長さ、メイクは禁止など細かいところまで決められている学校が多いですが、韓国ではメイクをしてはいけない、スカートは短くてはいけないなどの校則はないため、みんなスカートが短いなという印象がありました。ですが、これだけ緩いとみんなの統一感がなくなってしまうのではないかと聞いてみましたが、行きすぎた行動をしたら生徒指導されるからみんなあまり自由にしようとは思わないと言っていました。

このジュニア大使は私にとってとてもいい経験になりました。このジュニア大使の経験をこれから活かすため、学んだことをしっかり覚えておき、韓国でできた友達ともたくさん連絡をとって国際交流を続けていきたいです。



将来に繋がる水原市での経験

明道中学校 森川 暁

私は特に心に残った三つのことについて話します。

一つ目は、韓国の遊園地「エバーランド」です。自分たちのホームステイの子と、他のホームステイの子たちとアトラクションから動物園まで一日中一緒に行動しました。会話も大いに弾み、お互いの言語を学びあったり、MBTIを教えあったりしました。また、昼食にジャージャー麺を食べたり、おやつにチュロスを買ったり、おそろいのカチューシャも着けました。少し疲れたけれど、青春を感じた一日でした。

二つ目は、トンソン中学校を訪問したことです。生徒のみなさんが私たちを大歓迎してくれて、すぐに仲良くなれました。お互いの市や学校生活について紹介した後、歌やダンス、テコンドーを披露してくれて、大盛り上がりでした。そして、給食も一緒に食べました。自分の中学校とは違う、韓国ドラマで見たのと同じ給食のスタイルで、気分が上がりました。男女問わずインスタグラムの交換もして、今でもDMで話しています。帰る時にはバスが出発するまで私たちに手を振ってくれて、国境を越えた友情に感動しました。

最後に、ホームステイについてです。とても楽しみだったホームステイは想像以上に充実しました。優しく面白いホストファミリーは、温かく私たちを迎えてくれました。韓国式サウナのチムジルバンやダイソー、カラオケなど行きたかった所に連れて行ってくれました。チムジルバンは日本と違い、暑い石の上で横になりリラックスして、過ごすことができました。タオルでヤンモリ（羊の頭）を作り、ゆで卵を食べたり、シッケと呼ばれる飲み物を飲んだりして、韓国の文化を体験することができました。ホームステイの子の友達と一緒に過ごした最終日は一番心に残っています。

私は、たくさんのおもてなしを受けて水原市の魅力を存分に知ることができました。小学四年生から、学んできた韓国語の成果も試すことができました。韓国語が通じたときの嬉しさは、自分の自信になりました。そして、もっと韓国語や英語を勉強したいという意欲がわきました。

水原市で撮った写真は毎日のように見返しています。あっという間の一週間でしたが、自分の力で掴み取った、初海外での国際交流は一生の思い出になりました。これからも、国際交流の事業に積極的に参加し、将来に繋げていきたいです。

